

前橋市スーパーシティ構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和2年12月15日（火）から令和3年1月14日（木）まで

2 意見提出者及び意見数

- ・意見提出者数： 4人
- ・意見提出件数： 12件

3 意見及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続き実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。今回いただいたご意見を参考に、前橋市スーパーシティ構想を作成させていただきます。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

No,	意見の概要	市の考え方
1	個人情報を守られるのか。守られるよう努力するというだろうが、漏えいしても隠蔽したら分からない。行政は信じられない。 大事なマイナンバーをなぜ市に預けないといけないのか。100%安全に管理できるのか。できるわけない。世の中には優秀なハッカーが沢山いる。個人情報は自分で守らせてほしい。	スーパーシティ実施にあたっては、セキュリティーが高い情報連携基盤の構築に加え、個人の同意なしでは個人情報を活用できない前提で個人情報保護法を始めとする各法令や前橋市個人情報保護条例に基づいた運用を行うなど、個人情報の扱いには万全を期します。
2	顔認証とあるが監視したいのか。	町中にカメラを設置して監視する社会を作るのではなく、顔を認証することによって、保険証の資格確認や決済等、手ぶらで各種サービスを利用できるなど利便性の高いサービスを実現するためです。 なお、顔認証を通じて得られるデー

		<p>タは分散管理し、本人の同意により必要なデータを必要な時に活用する仕組みを考えており、同意なしに第三者に提供することはありません。</p>
3	<p>市民がデジタル化を望んでいるのか。メリットしか並べていないが、デメリットが本当はないと思っているのか。</p>	<p>今までオンラインタウンミーティング、ワークショップ、シンポジウム等を開催し市民の皆さまのご意見等を伺ってきました。市民に寄り添ったスーパーシティを目指すため、今後も引き続き住民説明会等を開催し市民の皆さまのご意見を踏まえて検討していきます。</p>
4	<p>今でも脳や身体に影響を与えているのに、町中にいまよりも強烈な電磁波を飛び交わせるのか。国が安全としているから安全といえるのか。</p>	<p>電波については総務省の法令等に基づき運用している限り身体に影響を与えないと考えております。</p>
5	<p>カタカナやアルファベットをやめてほしい。</p>	<p>可能な限り分かりやすい表現をしてみたいと考えております。</p>
6	<p>アプリだとか具体的にどんなことなのか提示してほしい。アプリも怪しい。情報筒抜けの監視可能なのではないか。</p>	<p>具体的な内容については現在検討中となります。</p>
7	<p>アプリはどこが開発するのか。</p>	<p>国のスーパーシティ区域として指定された場合、国も含めた区域会議において正式な事業者公募がされることとなります。</p>
8	<p>人と人との触れ合い大事。自分の頭を使って様々なコトを考え工夫し生み出していくことが大事。デジタル化ではなく、福祉や教育、環境、安全などアナログ的な工場・改善ができるような政策を打ち出してほしい。国に歯向かうくらいの市であってほ</p>	<p>デジタル化だけでなく人に寄り添った仕組みとの両輪で検討を進めております。併せて、今後住民説明会を開催し各種具体的なサービス等のご説明を行うとともに市民の皆さまのご意見を踏まえて検討していきます。</p>

	<p>しかった。前橋市には心底幻滅。</p>	
<p>9</p>	<p>前橋市スーパーシティ構想に反対します。管理社会は求めていますし、必要ありません。</p> <p>「便利」「安全」「安心」という聞こえの良い言葉だけに踊らされ、「個人情報」の重さ」「基本的人権」を蔑ろにしているように感じると同時に、「スーパーシティになりたい」「前橋はすごいのだと知らしめたい」という意識が先行してしまっているように感じる。そういった意識で、全市民の未来に関わることを広く周知しないまま専行して進めることは非常に危険。特にコロナ禍という財政的にも人的にも厳しい中、急いで進める必要はあるのでしょうか。</p> <p>スーパーシティ構想について、内閣府の資料を確認しましたが、どう見ても『地方自治体とグローバル企業を組ませて、グローバル企業に安定した利益を出させるための仕組み』としか読み取れませんでした。実際、スーパーシティ構想に興味を持っているのは国民よりも企業のほうが多いと聞きます。それは、自治体と組むことができれば、永く安定した利益を得ることが出来（私たちの税金です）、多岐にわたる実験を行う場を合法的に得られるからです。</p> <p>3つの特徴の中に、「マイナンバー法や電子署名法といった既存の法律に裏打ちされた仕組みであるため、法的な説明責任を果たせ、利活用の幅</p>	<p>前橋市のスーパーシティ構想は管理社会を構築するものではございません。また、個人情報については個人の同意ない限りは活用ができない仕組みを考えており、同意なしに第三者に提供することはございません。</p> <p>市民に寄り添ったスーパーシティを目指すため、今後も住民説明会を開催し市民の皆さまのご意見を踏まえて検討していきます。</p>

が広いこと」とあります。これは、裏を返せば「法律が変われば、それに合わせて仕組みが変えられてしまう」ということです。

また、「各データは領域ごとに分散して管理され、必要な時に個人の同意がない限りは活用することができません」とありますが、このことについても同様です。

「国が法律を変えたから」という理由で、説明もなしに全て一括管理されたり、同意なしに第三者に情報提供されたりするようになってしまうことがあります。

インドの「Aadhaar (アドハー)」制度は研究されたでしょうか。日本のマイナンバー制度と同じようなものですが、こちらは指紋や両目の虹彩など、生体情報の登録が必須となっているそうです。2010年の登録開始当初は希望する人のみということでしたが、実質的に登録しないと生活が困難という状況から、登録率は9割を超えたとのこと。なし崩し的に「まえばしIDがないと生活が困難になっていた」「実質的には登録義務化」ということにはなりませんか。新型コロナウイルスの騒動に乗じて、直ちに監視社会に移行させたいという動きを強く感じます。「何を馬鹿な」「妄想だ」と一笑に付す前に、国内だけでなく国外の動きも含めて、熟考と見直しをしてくださるようお願いいたします。

10	<p>市民に対して十分な周知と説明が全く不足しています。市民国民の税金を使う以上、もっと時間をかけて十分に説明と議論がなされるべきと考えます。</p> <p>当初、政府が先進モデルとしてきたカナダ・トロントでの「スマートシティ開発」は危険性があることから住民による大反対により廃止されました。なぜそのような危険なものを日本で、前橋で進めようとするのでしょうか。</p> <p>今の日本のスーパーシティ構想は中国の杭州市をモデルとしていると聞きます。あらゆる危惧から、前橋市スーパーシティ構想には反対です。</p> <p>「まえばし ID」には特に強く反対します。</p> <p>”マイナンバーカード×スマートフォン×顔認証”を併用連携するということには、非常に反対です。顔認証ということは、町中のあちこちに監視カメラを設置するという事。プライバシー侵害に当たる恐れ、監視社会になる恐れがあります。また、マイナンバーやスマホとの連携によって情報漏えいのリスクが高まり、個人情報が悪用される恐れもあります。</p> <p>いくら安全なシステムだと言われても、絶対安全はありえないはずで。万が一情報が漏えいした場合、悪用された場合には取り返しがつきません。</p> <p>そういったリスクを考えると、住民</p>	<p>今までオンラインタウンミーティング、ワークショップ、シンポジウム等を開催し市民の皆さまのご意見を伺ってきました。市民に寄り添ったスーパーシティを目指すため、今後も引き続き住民説明会等を開催し市民の皆さまのご意見を踏まえて検討していきます。</p>
----	---	--

	<p>として、著しく損害を被る可能性が高いと思わざるを得ません。住民として、利便性よりも確実な安全性を選び、望みます。このようなことに住民の貴重な税金を使わないでいただきたい。</p>	
11	<p>5Gの危険性について、市民と十分な議論がなされていません。</p> <p>外国では、人体への悪影響がある事から使用を禁止している国があるにも関わらず、日本でそれを使用しようとするのは非常に問題があると考えます。これもまた、住民として損害を被る可能性がある事から強く反対します。</p>	<p>5Gを含む電波については総務省の法令等に基づき運用している限り身体に影響を与えないと考えております。</p>
12	<p>県のパートナーシップ宣誓制度の発表により、前橋市生活課において準備中であった同制度の独自導入が取り下げとなってしまった。まえばしIDという新しい可能性を活かした内容であらためて制度の導入を望みます。同制度の多くは宣誓受領証としてカードや紙面で発行されており、まえばしIDにおいてはアプリ内でその宣誓手続きが済み、受領証の表示などができるものが望ましいです。</p> <p>まえばしIDの家族連携をすることで緊急連絡先として医療などで活用できる。法的に婚姻しているカップル家族に限らず、上記の宣誓を行ったLGBTQのカップルや事実婚カップルとその子どもが活用できるものを望みます。</p>	<p>まえばしIDを活用したご提案として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>

トランスジェンダー（性同一性障害を含む）などの当事者は、保険証の性別欄と見た目・名前が一致しないために医療機関の受診をためらい、重症化するケースがあります。まえばし ID の活用で、性別欄の入った保険証やマイナンバーカードを提示しなければならぬという心的ストレスをなくし、医療機関にかかる際に「性同一性障害によるホルモン療法を受けている/通称名〇〇で呼称してほしい」などの情報を当事者がその都度カミングアウトせずに医療側が配慮できる体制を望みます。

これは、トランスジェンダー当事者だけでなく、既往歴・基礎疾患などがある方が担当医以外を受信した際に共有できれば患者側も医療者側もスムーズな対応になると考えます。

LGBTQ は日本の人口の 8% 前後とされ、30・40 人学級に 2、3 人は当事者の児童生徒が存在しています。学習指導要領に LGBTQ など多様な性は含まれないながら、昨今メディアで取り上げられる機会が増えたことから、当事者の児童生徒が友人・家族・教師に早い段階からカミングアウトすることが増えつつあります。しかしながら、教師や親が正しく知らないことで、子どもを傷つけてしまったり、いじめや不登校など良くない方向に発展してしまうことがあります。

めぶき場の活用で、人権・多様な

<p>性・生涯・外国人などについて活動している団体と子どもたちをつなげていただき、リアル・バーチャルを通して子どもたちに学習する機会を提供してください。自宅でのタブレット学習などで、子どもたちから親へも理解が広がると考えます。</p> <p>LGBTQに限らず、多様な配慮が必要な子どもたちに対応するために、学校の先生方に求められることが多様になっています。学校の先生の仕事改革も踏まえ、外部機関が連携を取れるような体制を作ってください。</p>	
---	--

※とりまとめの都合上、意見等の内容は適宜要約しています。